



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 M-エイトレッド

コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲瀬 敬一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 佐藤 淳

TEL 03-3486-6312

四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家様向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-----|------|-----|------|-----|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 527 | 7.5 | 160 | 3.6 | 160 | 4.7 | 107 | 8.8 |
| 29年3月期第2四半期 | 490 | — | 154 | — | 153 | — | 99 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | |
|-------------|-------------|-----|--------------------|-----|
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 49.04 | — | 47.26 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 49.57 | — | — | — |

(注)1 当社は、平成28年3月期第2四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。

2 平成29年3月期第2四半期に係る潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|-------|------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 1,854 | 1,342 | 1,342 | 72.4 | 610.25 | |
| 29年3月期 | 1,822 | 1,290 | 1,290 | 70.8 | 586.58 | |

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 1,342百万円 29年3月期 1,290百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 28.47 | 28.47 |
| 30年3月期 | — | 15.50 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 15.50 | 31.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,150 | 19.6 | 336 | 16.5 | 336 | 20.6 | 221 | 16.0 | 100.45 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 30年3月期2Q | 2,200,000 株 | 29年3月期 | 2,200,000 株 |
| 30年3月期2Q | — 株 | 29年3月期 | — 株 |
| 30年3月期2Q | 2,200,000 株 | 29年3月期2Q | 2,000,000 株 |

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | P. 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | P. 5 |
| 第2四半期累計期間 | P. 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | P. 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | P. 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 7 |
| (セグメント情報等) | P. 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州、中近東及び東アジア地域等での情勢不安に起因する地政学リスクの高まりを受けて、世界経済全体としては不透明な状況が継続しているものの、企業収益の改善を背景に、雇用情勢や個人所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いております。

当社が属するIT業界は、クラウドサービス市場の拡大を背景として、クラウドサービスの利用拡大が顕著となっております。当社製品・サービスを展開するワークフローソフトウェア市場につきましても、クラウドサービス及びワークフローソフトウェアの需要拡大を背景に堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーの開催及び、市場優位性を確保するためのワークフローソフトウェアの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は5億27百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益は1億60百万円（同3.6%増）、経常利益は1億60百万円（同4.7%増）、四半期純利益は1億7百万円（同8.8%増）となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

パッケージソフトは、全国主要都市でのセミナーの実施等により、導入企業数が順調に推移しました。X-pointにおいて、前年同期のVer1.8のサポート終了に伴うVer2.0への移行案件の反動減の影響がありました。その結果、当第2四半期累計期間のフロー売上高は2億3百万円（同13.0%減）、ストック売上高は2億9百万円（同14.2%増）となり、パッケージソフト全体の売上高は、4億12百万円（同1.0%減）となりました。

(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長を背景として、人員を増強する等の販売体制を強化したことにより、新規導入企業数が順調に推移しました。その結果、当第2四半期累計期間のフロー売上高は17百万円（同70.3%増）、ストック売上高は96百万円（同53.5%増）となり、クラウドサービス全体の売上高は、1億14百万円（同55.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は18億54百万円となり、前事業年度末に比べ31百万円の増加となりました。これは、主に売掛金が31百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は5億11百万円となり、前事業年度末に比べ20百万円の減少となりました。これは、主に前受収益が15百万円増加したものの、未払法人税等が28百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は13億42百万円となり、前事業年度末に比べ52百万円の増加となりました。これは、主に四半期純利益の計上等により利益剰余金が45百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して13百万円減少し、12億円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億18百万円（前年同四半期は2億80百万円の獲得）となりました。これは、主に法人税等の支払が78百万円、売上債権の増加が36百万円あったものの、税引前四半期純利益が1億60百万円、減価償却費が70百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、76百万円（前年同四半期は86百万円の使用）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出が76百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、55百万円（前年同四半期は87百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払が62百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,214,903 | 1,200,916 |
| 売掛金 | 154,129 | 185,879 |
| 電子記録債権 | 10,237 | 14,711 |
| その他 | 30,853 | 29,356 |
| 流動資産合計 | 1,410,123 | 1,430,863 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物附属設備(純額) | 119,449 | 112,131 |
| その他(純額) | 10,193 | 8,772 |
| 有形固定資産合計 | 129,643 | 120,904 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 230,874 | 246,338 |
| 無形固定資産合計 | 230,874 | 246,338 |
| 投資その他の資産 | 51,641 | 56,015 |
| 固定資産合計 | 412,159 | 423,257 |
| 資産合計 | 1,822,283 | 1,854,120 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,417 | 4,426 |
| 未払法人税等 | 88,872 | 59,940 |
| 前受収益 | 177,848 | 193,117 |
| 賞与引当金 | 37,415 | 37,544 |
| その他 | 102,112 | 80,012 |
| 流動負債合計 | 409,666 | 375,040 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 46,485 | 57,467 |
| 役員退職慰労引当金 | 9,208 | 12,526 |
| 資産除去債務 | 66,442 | 66,547 |
| 固定負債合計 | 122,135 | 136,540 |
| 負債合計 | 531,802 | 511,581 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 265,600 | 265,600 |
| 新株式申込証拠金 | - | 6,804 |
| 資本剰余金 | 265,600 | 265,600 |
| 利益剰余金 | 759,281 | 804,535 |
| 株主資本合計 | 1,290,481 | 1,342,539 |
| 純資産合計 | 1,290,481 | 1,342,539 |
| 負債純資産合計 | 1,822,283 | 1,854,120 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 490,437 | 527,111 |
| 売上原価 | 121,995 | 131,885 |
| 売上総利益 | 368,442 | 395,226 |
| 販売費及び一般管理費 | 213,588 | 234,855 |
| 営業利益 | 154,854 | 160,370 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 5 |
| その他 | 382 | 111 |
| 営業外収益合計 | 385 | 117 |
| 営業外費用 | | |
| 上場関連費用 | 2,000 | - |
| 営業外費用合計 | 2,000 | - |
| 経常利益 | 153,239 | 160,488 |
| 税引前四半期純利益 | 153,239 | 160,488 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 69,350 | 54,223 |
| 法人税等調整額 | △15,253 | △1,623 |
| 法人税等合計 | 54,097 | 52,600 |
| 四半期純利益 | 99,142 | 107,888 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 153,239 | 160,488 |
| 減価償却費 | 60,435 | 70,095 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 15,484 | 128 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 10,155 | 10,982 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 2,750 | 3,318 |
| 受取利息 | △3 | △5 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 5,607 | △36,223 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △893 | 1,008 |
| 前受収益の増減額(△は減少) | 21,375 | 15,269 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △7,603 | △16,578 |
| その他 | 31,423 | △11,116 |
| 小計 | 291,972 | 197,365 |
| 利息の受取額 | 3 | 5 |
| 法人税等の支払額 | △11,702 | △78,941 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 280,274 | 118,430 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △469 | - |
| 無形固定資産の取得による支出 | △85,532 | △76,819 |
| その他 | △0 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △86,002 | △76,819 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 新株式申込証拠金の払込による収入 | - | 6,804 |
| 配当金の支払額 | △87,000 | △62,401 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △87,000 | △55,597 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | - | - |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 107,271 | △13,986 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 637,899 | 1,214,903 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 745,171 | 1,200,916 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。